



【 情報セキュリティマネジメント試験 3名合格!!! 】

初回となる28年春期試験が4月17日に実施されました。

この試験を受験すると決まったのは、試験のおよそ3ヶ月前。みなさん仕事も多忙のなか勉強し、この短期間での合格は素晴らしい!と思います。

情報セキュリティマネジメント試験とは、情報セキュリティマネジメントの計画・運用・評価・改善を通して組織の情報セキュリティ確保に貢献し、脅威から継続的に組織を守るための基本的なスキルを認定する試験で、**経済産業大臣が認定する国家資格**「情報処理技術者試験」の13ある区分の中の一つです。

この試験が新たに創設された理由は、一事で言えば日本においてサイバー攻撃が数年前より格段に増加し、それに伴う被害が深刻化してきたためです。

情報セキュリティの技術やシステムもそれに応じて進化してきましたが、最近でも「ベネッセHD」や「日本年金機構」などで大規模な情報漏えい事件などが相次いで発生しているように、企業や組織に致命的とも言えるダメージを与える情報セキュリティ事件は増加する一方です。これらの事件を引き起こしてしまった要因が組織の内部にもあったことを考えると、どれほど立派なシステムがあっても、それを適切に運用する人材や体制を失くして正しい対処をすることはできないと考えざるを得ません。

正に情報セキュリティマネジメント試験が目的とするのは上記のような「**ユーザー企業において、一定の技術知識を持ちつつ、自社内で情報セキュリティ対策の実務をリードできる人物**」の育成です。今後、情報セキュリティに確かな知識を持つ人材への需要は確実に高まっていくでしょう。

※参考資料：情報セキュリティマネジメント試験トータル

※ 今月の豆知識 ※ ～ 料理に使う『清酒』と『料理酒』の違い ～

レシピの「お酒」は清酒(日本酒)のことです

一般的に料理レシピの「酒」というのは、食塩の入っていないもの=「清酒」を指します。「料理酒」と書かれているものは、その多くに食塩が入っているので、レシピどおりに作っていても余分な塩分を摂取してしまうこととなります。

※清酒と日本酒は同じものです。

実際にラベルを見て確かめてみよう

ご家庭にある料理に使うお酒のラベルを見てみましょう。「清酒」と書かれていれば食塩は添加されていません。原材料名に食塩が入っているものは清酒ではありません。



※参考資料：宝酒造株式会社

❖ IPA(独立行政法人 情報処理推進機構)の セキュリティプレゼンター制度へ登録しました ❖



IPA 独立行政法人 情報処理推進機構
Information-technology Promotion Agency, Japan



こちらが、IPA のロゴです。
ご覧になった事がありますか？

IPA(独立行政法人 情報処理推進機構)とは

【IPAの概要】

- IPAは、設立以降、ソフトウェア開発振興を中心に事業を実施。その後、90年代以降、いち早く情報セキュリティ対策への取組を本格化。「情報セキュリティ・パイオニア」という位置付け。
- 2004年の独立化以降も、情報セキュリティの対策を随時強化拡大。現在は情報セキュリティ対策施策を中心として、システムの信頼性対策及びIT人材育成施策を一体的に実施。

【IPAの主要事業】

情報セキュリティ対策

- ・ 情報セキュリティ関連情報（脆弱性、ウィルス、不正アクセス）の収集・分析・共有
- ・ 重要インフラ事業者間におけるサイバー攻撃情報共有体制の運営 等

情報システムの信頼性向上

- ・ 重要インフラ事業者の障害事例集の整備・解析・共有
- ・ 自動車などの組込みソフトウェア開発手法の整備 等

IT人材育成

- ・ 国家試験「情報処理技術者試験」の運営
- ・ 突出した若手IT人材の発掘・育成・確保 等

セキュリティプレゼンター制度とは

セキュリティプレゼンター制度とは、IPAが開発・作成した情報セキュリティコンテンツ等を使用し、企業に対して情報セキュリティの普及啓発を行う方の登録制度です。セキュリティプレゼンターは、顧客企業へ情報を守るためのノウハウを提供し、事業維持と発展に貢献することができます。

参考資料：経済産業省

弊社では、今月号でもお伝えしましたが、IPAのセキュリティプレゼンターへの登録や試験に積極的にチャレンジし、情報セキュリティの知識を持った社員が在籍しております。情報セキュリティ対策で何か心配や困った事などがあれば、お気軽にご相談下さい！

